株式会社 ディアローグ

美奈見こころ保育園の保育

保育に関する私たちの考え方と取り組み、
子どもたちの生活風景、行事や食事などをご紹介します。

はじめに

保護者の皆さま、ならびに地域の皆さまにおかれましては、日頃より美奈見ここわ保育園の運営にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

美奈見ここわ保育園は 2021 年度に福祉サービス第三者評価を受審いたしました。お寄せいただいた利用者調査の結果では「大変満足」「満足」が合計で 95．6%の回答率となっており、多くの保護者様に満足していただけている状況が確認されました。

そこで、さらなる保育サービスの向上に向け、私たちが実践する「保育」の考え方について積極的にお伝えし、より理解を深めていただけるよう、評価結果報告書（カテゴリー６）を読みやすく再編集した「Q&A 版・評価結果報告書」を作成いたしました。

この報告書は、「生活リズム・生活習慣」「行事」「食事・食育」等の視点に沿って、福祉サービス第三者評価で確認された内容を写真（エビデンス）付きで掲載しております。

ぜひ、ご覧いただきますとともに、今後とも、子どもの成長を共に見守る関係づくりに向けより一層のご理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

２０２２年６月１日

株式会社ディアローグ　美奈見ここわ保育園
園長　田村　裕子

もくじ

1	子どもの受け入れ	①保育室の生活環境 ②価値観を広げる取り組み ③配慮を要する子どもの受け入れ ④子ども同士のトラブル ⑤就学に向けた支援
2	生活習慣	①園生活の連絡・報告 ②生活習慣を身につけるための教育 ③生活リズム・午睡
3	活動内容	①室内での遊び・学び ②戸外での遊び・学び
4	特別活動	①行事内容 ②保護者の行事参加
5	長時間保育	①長時間に対応する環境づくり
6	食事	①献立と食事環境 ②食育活動 ③アレルギー対応
7	健康管理	①安全教育・健康指導 ②健康管理およびけが・病気への対応 ③SIDS 及び感染症への予防策
8	保護者支援	①関係づくり
9	地域交流	①地域や多様な人々とのふれあい

※紹介する項目は東京都福祉サービス第三者評価「サービスの実施項目（カテゴリー6－4）」に準じています。

1　子どもの受け入れ

① 保育室内の生活環境

Q：子どもが生活する園内はどのような環境ですか？

A：園舎は、かつて銭湯だった建物を改修したものです。形状を見ると、その名残が感じられます。その中で、年齢毎にクラスを設けています。1・2 歳の保育室は独立していますが、3・4・5 歳児室は 1 フロアを背の低い家具で仕切ってクラス毎の環境を作っています。さらに、クラス毎に時間帯や生活目的に応じて、1 日の中でもレイアウトを変えています。幼児フロアにおいては、園児が主体的に活動できるよう絵本や製作のコーナーを作っています。1 歳児室では手作りのウォール玩具やままごと遊びのセットを設置するなど、発達に応じた環境を整えています。

1　子どもの受け入れ

② 価値観を広げる取り組み

Q：子ども同士の交流をどのように育んでいますか？

A：3・4・5 歳児クラスは同じフロアで生活しており、自然にお互いの存在を意識し、交流できる環境となっています。また着替えや午睡後には、年上の子どもが年下の子どもの生活の手伝いをする場面もあります。加えて年齢の違うクラスが合同で月 1 回、一緒に散歩に出かけています。

Q：外国文化や国内各地の文化に触れる機会を設けていますか？

A：外国文化に触れる機会として、ネイティブの講師から英語指導を受けたり、一緒に遊んだりしています。また国内各地の文化に親しむ機会として、職員が絵本の読み聞かせを行ったり、給食献立に郷土料理を盛り込んだりしています。

１　子どもの受け入れ

③　配慮を要する子どもの受け入れ

Ｑ：配慮を要する子どもの受け入れはしていますか？

Ａ：要支援児を受け入れる際は、こども発達センターなどの専門機関と連携し、保健師や臨床心理士などの専門職から助言を得ています。気持ちが不安定になった場合は、園児自身が気持ちをコントロールできるよう、静かな場所へ移動して個別に寄り添っています。

④　子ども同士のトラブル

Ｑ：子ども同士のトラブルに対してどのように対応していますか？

Ａ：発達の過程で生じる園児同士のトラブルに対して、職員は園内研修を通じて子どもの気持ちを尊重する知識や技術を学び、子どもの気持ちに寄り添う言葉かけを心がけています。

⑤　就学に向けた支援

Ｑ：小学校への円滑な接続に向けてどのような支援を行っていますか？

Ａ：就学準備として､５歳児クラスでは２月になると午睡時間をなくし、制作や文字・数のプリントなどの机上でできることをしています。

２　生活習慣

①　園生活の連絡・報告

Ｑ：日々の子どもの様子はどのように教えてもらえますか？

Ａ：降園時には、担任または引継ぎを受けた職員が対面して、日中の子どもの様子を報告しています。

Ｑ：子どもの様子についてどのように把握していますか？

Ａ：子ども一人ひとりの生活リズムを把握するために、１・２ 歳児クラスではシステム（コドモン）の連絡帳機能を利用しています。登園時には毎回保護者へ健康状態を確認し、その際に得た情報は申し送り票を使用して職員間で引き継いでいます。

２　生活習慣

② 生活習慣を身につけるための教育

Ｑ：生活習慣を身につけるためにどのような教育を行っていますか？

Ａ：園児の発達の段階と支援の方法は、発達記録に記載しています。食事指導については、食育活動を実施する中でマナーを教育しています。
トイレトレーニングでは、便座に座る習慣をつけながら、ペーパーの取り方を練習しています。歯磨き指導は、日常において歯磨きは行っていませんが、幼児を対象に保健師が歯科指導を行うとともに、5 歳児クラスを対象にお話しする時間を設けています。着替え指導については、1 歳の頃から脱衣への配慮を徹底し、裸にならないで着替える方法を伝えています。

２　生活習慣

③ 生活リズム・午睡

Ｑ：午睡の実施方法を教えてください。

Ａ：デイリープログラムにおいて午睡時間は、１・２歳児は 12 時、幼児は 13 時から、それぞれ 15 時前までとしています。環境面では、コット・シーツ・バスタオルなどの寝具を使用し、衛生的で呼吸がしやすい環境を整えています。

Ｑ：午睡に関して配慮している内容について教えてください。

Ａ：午睡時間に眠れない子どもがいた場合は、事務室などで過ごしてもらっています。就学準備として、５歳児クラスでは２月になると午睡時間をなくし、制作や文字・数のプリントなどの机上でできることをしています。

３　遊び・学び

① 室内での遊び・学び

Ｑ：テーマを持ったコーナーを設けていますか？

Ａ：保育環境のコンセプトは、「Home(自分らしくいられる居心地の良い空間)」としています。
園内には、遊びに応じたままごと・絵本・廃材・既製品などのコーナーを設けています。

Ｑ：クラス全体でどのような活動を行っていますか

Ａ：リトミックを通じて、体を動かして身体能力を高めるとともに、音楽に親しみながら表現力を養っています。また、ホームページ上に「お家でカンタン♪親子体操!」と題した動画を公開し、家庭でも表現活動に取り組めるようにしています。その際、どんな楽器を試したいか、どんな決めポーズをするのかなど、園児が主体的に取り組めるようにしています。
また園児同士が意見交換をするとともに、言葉に対する感覚を養うためのプログラムとして、帰りの会を行っています。

３　遊び・学び

Ｑ：学びにどのようなプログラムを取り入れていますか？

Ａ：ここわ保育園の行う教育について、ホームページでは「子どもの得意分野」を発見するお手伝いであると説明しています。
また、「好きなことを見つけよう」というメッセージに並び、英会話とリトミックを紹介しています。英会話では、ネイティブの英語講師が週２回、１時間の英語遊びと保育参加を行い、英語によるコミュニケーションを通じて英語に親しむとともに、物の名前や英語の歌に親しんでいます。
日本語と数字についても、「話す・書く」という表現ができるように、プリントを用いて学習しています。

３　遊び・学び

② 戸外での遊び・学び

Ｑ：戸外ではどのような遊びをしていますか？

Ａ：子どもたちが一斉に外遊びをできるような園庭がないため、体制と環境さえ整えば毎日散歩に出かけるようにしています。英語のプログラムがある日は、ネイティブの講師が一緒に出かけてくれています。
周辺環境に恵まれているため、「子どもの得意分野」を発見するお手伝いや、図書館に出かけてお話会に参加したり、絵本を借りたりすることもあります。一方、敷地内の戸外環境を利用して、夏場はよしずやサンシェードを施して日陰を作りながら、プール遊びを行っています。

４　特別活動

① 行事内容

Ｑ：子どもが体験できる行事について教えてください。

Ａ：日頃の生活を大切にしており、保護者が参加するような行事は控えめに計画しています。子どもの成長や保育の成果を発表する機会として、運動会・発表会を催しています。また、七五三やクリスマスをはじめとする季節行事を行っています。
行事開催に向けて園児の興味や関心を高めるための工夫として、千歳あめ袋や季節飾りなどを製作しています。
また、夏祭りのプログラムなどは子どもが主体となってクラス毎に考えるようにしています。そのような行事の体験を振り返ることを支援するため、思い出を描画し、１年分ストックしています。

Ｑ：誕生日会ではどのようにお祝いしていますか？

Ａ：お誕生会は、全クラス合同でお祝いしています。誕生児の自己紹介と質問コーナーを設けるとともに、誕生日カードをプレゼントしています。また、職員が特技を披露して全体で楽しめるようにしています。

４　特別活動

② 保護者の行事参加

Ｑ：保護者参加の行事はありますか？

Ａ：保護者が参加・見学できる行事として、運動会・発表会・保育参加を実施しています。
なお、年間行事予定表は、保護者が参加の見通しを立てやすいように、年度初めに配布しています。併せて、行事毎の目的は、園だよりで随時伝えています。

Ｑ：園内行事の子どもの様子はどのように知らせてくれますか？

Ａ：保護者が参加していない活動についても、園だより・動画配信などにより子どもの様子を伝えています。

５　長時間保育

①長時間に対応する環境づくり

Ｑ：長時間にわたる保育でも子ども達が安定して過ごせるよう配慮していますか？

Ａ：園児が安心してくつろげる環境整備として、幼児クラスでは２畳サイズのマットを広げていつでも寝転んだりできるようにしています。日中疲れてしまった園児がいた場合は、事務室で休息することもできます。また一人きりになって気持ちを落ち着けたい園児がいた場合は、５歳児室の一角や事務室にパーソナルスペースを用意しています。

Ｑ：延長保育ではどのような配慮をしていますか？

Ａ：延長保育については、17 時から一部、18 時からは全体での合同保育に切り替わります。延長時間帯の合同保育は１歳児室で行っています。その中でも年齢ごとに空間を分けて、個々に関心のある玩具を用意し、それぞれのペースで過ごせるようにしています。体制面では、18 時 15 分までは乳児・幼児担任が保護者に対応できるようにしているほか、小規模園のメリットとして担任以外の職員も園児と保護者を理解してコミュニケーションを図れるようにしています。

６　食事・食育

①献立と食事環境

Ｑ：給食はどのような献立になっていますか？

Ａ：献立は野菜を活かした料理を積極的に採用し、果物も毎日違うものを用意しています。行事食は、乳児と幼児の食材のカット方法を変えるなど工夫したり、節分の際に鬼をかたどったチキンライスを提供したこともあります。

Ｑ：どのような環境で食事していますか？

Ａ：食事はクラスルームで行い、４人の子ども同士が対面して楽しく食事できるよう、着座するメンバーの選定と落ち着いて食事できる雰囲気・環境作りを工夫しています。また、栄養士と調理師が保育士と連携し、直接園児の嗜好を確認しながら喫食状況がより良くなるように努めています。

６　食事・食育

②食育活動

Ｑ：食育活動では具体的にどのような取り組みを行っていますか？

Ａ：「食を営む力」を健康な生活を営む基本に位置付けています。「五感を使って楽しく食べよう」という視点に基づき、食に対する関心を深めるとともに、マナー教育も行っています。
その食育活動の一環として、近隣の畑でサツマイモの収穫をしたり、プランターでなす・ピーマン・えだまめを栽培・収穫したりしています。収穫した野菜は給食材に加えて食べるところまでを体験しています。
また調理体験は、主に幼児期に行っています。ピーラーや包丁を用いて野菜の下ごしらえをし、ピザなどを調理しています。１・２ 歳児も、トウモロコシや玉ねぎの皮むきなどで野菜にふれる機会を作っています。

③アレルギー対応

Ｑ：食物アレルギー児への対応はどのようにしていますか？

Ａ：アレルギー児への対応については、医師の指示に応じて除去食・代替食を用意するとともに、誤食防止策として専用のテーブル・色を変えたトレーや食器を用いるとともに、状況に応じて対処薬を預かっています。さらに宗教上のニーズに対しても同様に対処しています。

７　健康管理

①安全教育・健康指導

Ｑ：安全に関してどのような教育を行っていますか？

Ａ：園児の防災・防犯意識を高める取り組みとして避難訓練を毎月行うとともに、区の交通安全課および警察署からジオラマを用いた信号横断指導を受けています。さらに近隣公立保育園の防災訓練で起震車体験をしたり、職員から自然災害の体験談を伝える場面も設けています。

Ｑ：事故・怪我防止対策を教えてください

Ａ：職員による園内の事故怪我防止策として、事故報告書・怪我報告書・ヒヤリハット報告を通じて意識的に安全な環境を作っています。

Ｑ：健康管理の指導をどのように行っていますか？

Ａ：健康指導として、嘱託医による内科健診・歯科検診・歯磨き指導を行っています。

７　健康管理

②健康管理およびけが・病気への対応

Ｑ：子どもの健康管理はどのように行っていますか？

Ａ：子どもの成長と健康を管理するために、嘱託医による内科健診・歯科検診・歯磨き指導を行っています。また、毎月１回身体測定を行っています。さらに日頃から職員による視診を行い、家庭と連携して子どもの様子を把握しています。

Ｑ：医療的ケアが必要な子どもを受け入れる体制を整えていますか？

Ａ：医療ケアが必要な園児がいる場合は、嘱託医や専門機関と連携して対処しています。

Ｑ：どのような症状について薬を預かってもらえますか？

Ａ：与薬は基本的に行っていませんが、必要が認められる場合は与薬依頼書の提出とともに薬を預かっています。

③SIDS 及び感染症への予防策

Q：健康管理や SIDS 対策にどのように取り組んでいますか？

A：SIDS 対策として、午睡時に 1・2 歳児は 10 分、幼児は 30 分おきに健康状態を確認しながら寝る姿勢などの睡眠状態を記録しています。職員に対しては、職員会議において感染症や SIDS に関する学びを深めています。

Q：感染症予防に向けてどのように取り組んでいますか？

A：本園は看護師が不在であるため、区の保育課が発行する保健だよりを保護者に配信しています。
感染症が発生した場合は、システム（コドモン）を活用して情報を配信し、保護者と連携して感染の拡大防止に努めています。

８　保護者支援

①関係づくり

Ｑ：保護者の状況や意向はどのように把握していますか？

Ａ：子育てに関する保護者の価値観や就労状況について、家庭状況調査書に記録し把握しています。また保育園の日常的なサービスに係る保護者の意向は、年間１回行う個人面談で確認しています。その他、保育参加や運動会での様子を通じて理解に努めるとともに、アンケートを実施して直接意見を聞く機会も設けています。

Ｑ：保護者どうしの交流をどのように促していますか？

Ａ：保護者間の交流促進を目的に、保護者会で保護者同士の意見交換の時間を設けています。また、運動会や発表会などの保護者が参加する行事において体験を共有しています。

８　保護者支援

Ｑ：保護者との関係を深める取り組みを行っていますか？

Ａ：保護者と職員の信頼関係を深めるための取り組みとして、保護者会と運営委員会を各年２回ずつ実施しています。保育参加は、各クラス年１回１か月間を設定し、１日に１組を定員として保育を体験しています。その他、玄関に意見箱を置き、保護者は職員と対面せずに要望を伝えることができるようにしています。

Ｑ：保護者対応に関する取り組みを教えてください

Ａ：円滑なコミュニケーションを保つために、保護者対応の一環として「挨拶の仕方・話し方」を学んでいます。

９　地域交流

①地域や多様な人々とのふれあい

Ｑ：普段の園生活で職員以外の人とふれあう機会はありますか？

Ａ：職員以外の人と交流する機会として、職場体験の生徒を受け入れるとともに、企業研修にも協力しています。保育実習生やボランティアも受け入れる姿勢を用意しています。

Ｑ：地域環境を活かした活動はありますか？

Ａ：園児が地域に触れる機会として、散歩の際に図書館や児童館を訪れたり、神社の七五三参拝に出かけたり、老人ホームを訪れて歌や手作りの作品を届けたりしています。また地域のお祭りに参加する機会や、近隣の農地を借りて野菜の収穫を体験する機会を得ています。さらに５歳児クラスは、近隣園と連携して行う地域交流事業に参加し、ドッヂボールなどをしています。

＜　発　行　＞　株式会社ディアローグ　美奈見ここわ保育園